

私学いばらき

発行 茨城県私立中学高等学校
保護者会連合会
(茨城県私学協会内)

〒310-0911 水戸市見和 1-356-2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-226-1224・FAX 029-226-1273

ホームページアドレス
<https://ibarakishiigaku.jp>

「子どもたちの輝ける将来を夢見て」



令和6年度
茨城県私立中学高等学校保護者会連合会

会長 須藤 隆之

令和6年度、茨城県私立中学高等学校保護者会連合会の会長を務めました、霞ヶ浦高等学校PTA会長の須藤隆之と申します。まず

は皆様には日頃より当会の活動に深いご理解と、多大なご尽力を賜っておりますこと、心からの感謝の意を表したいと思います。

さて、私たちは私立学校の教育環境の向上を目指し、様々な活動に取り組んできました。保護者の皆様とのコミュニケーションを重ね、学校や地域との連携を強化することが重要であると痛感しました。皆様のご協力があったこそ、私たちの活動が充実したものになったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

特に、近年の社会情勢の変化に伴い、教育現場も多くの課題に直面しております。しかし、私たち保護者が一

丸となり、支え合うことで、子どもたちの成長を見守ることができました。このような経験を通じて、子どもたちの未来を共に考え、意見を交換することの大切さを再認識しました。

また、保護者会としての活動だけでなく、地域とのつながりを大切にし、地域社会に貢献することの重要性も忘れてはなりません。私たちが築いてきた信頼関係やネットワークは、今後も大切に受け継がれていくことを願っています。新たな時代において、私たちの役割はますます重要になるでしょう。

次年度以降も多くの方々が生徒たちへの熱い思いを引き継ぎ、私学が先頭となって茨城県の教育がさらなる発展を遂げることを心より願っています。拝命した職務を通じて、多くの方々との出会いと交流を通じて、多くの学びと喜びを得ることができました。この経験は、私の人生においてかけがえのない宝物であります。

最後になりますが、今後も引き続き私たちの活動に関心を持ち、協力していただけることをお願い申し上げます。子どもたちの未来のために、皆様が共に歩んでいけることを楽しみにしています。これまでのご支援に心より感謝いたします。ありがとうございました。

県私保連について

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会(略称「県私保連」)は、県私保連の前身となる茨城県私学父母の会が、昭和57年、全国私学父母の会(現在の「日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会」)と協調し、父母自身の問題を父母の立場で解決する場を求めて発足しました。平成19年には、現在の名称に変更し、発足から一貫して、茨城県私学協会・県私保連・茨城県高等学校PTA連合会私学部会(略称「私学部会」)の私学三団体が連携・協調して私立高等学校等経常費助成に関

する請願・陳情の活動をしてまいりました。

平成22年5月、全国組織をはじめとする関係団体との連携を強化するために、県私保連は私学部会と統合して、現在の県私保連を設立しました。

県私保連は「私立学校助成の拡充及び保護者の教育費負担の軽減に向けての運動推進」を主要な事業に掲げ、主に私学助成に対する充実強化のため毎年活動を進めております。

令和6年度役員

- 会長……須藤 隆之
(霞ヶ浦高等学校PTA会長)
- 副会長……樋口 吉紀
(清真学園高等学校・中学校PTA会長)
- 副会長……岡村 守
(霞ヶ浦高等学校校長)
- 理事……青木 一史
(水城高等学校PTA会長)

- 理事……仁 衡 琢 磨
(茗溪学園中学校高等学校保護者会会長)
- 監事……今 井 正 和
(茨城キリスト教学園中学校肩羊会会長)
- 監事……ランドルW. ヴォス
(茨城キリスト教学園中学校高等学校校長)

令和6年度事業報告

1 茨城県私立中学高等学校保護者会連合会総会

6月13日	会 場：ホテルレイクビュー水戸	出席者：75名
-------	-----------------	---------

- (1) 説 明 「本県の私学助成について」
茨城県教育庁総務企画部私学振興室担当者
- (2) 議 事
- 1 令和5年度事業報告
 - 2 令和5年度収支決算
 - 3 令和6年度役員の選任（案）
 - 4 令和6年度事業計画（案）
 - 5 令和6年度収支予算（案）

全議題について原案通り可決された。

2 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会理事会（代表者会）群馬大会

6月28日	会 場：ホテルラシーネ新前橋	本県出席者：2名
-------	----------------	----------

- 協議報告事項
- 1 関東地区私学保連「会長・副会長」及び日私学保連「理事候補者」の選出について
 - 2 関東地区私学保連令和5年度事業報告及び収支決算報告
関東地区私学保連令和6年度事業計画及び収支予算（案）
 - 3 令和6年度関東地区私学保連代表者会及び研修会開催計画（案）
 - 4 次期開催県の決定 栃木県

全議題について原案通り可決された。

3 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会代表者会及び研修会群馬大会 中止

4 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会総会・研修会（静岡県）

7月18日～19日	会 場：ホテルアソシア静岡	本県出席者：5名
-----------	---------------	----------

- (1) 総 会
議 事
- 1 令和5年度事業報告
 - 2 令和5年度決算報告
 - 3 令和6年度事業計画（案）
 - 4 令和6年度予算（案）
 - 5 役員の改選
 - 6 令和6年度研修会、青少年育成研修会及び令和7年度総会の開催について
- 全議題について、原案通り可決された。

(2) 研修会

- 講演Ⅰ 「私立学校を巡る公費負担等の動向について」
講師：日本私立中学高等学校連合会 会長 吉田 晋 氏
- 講演Ⅱ 「今川・徳川の歴史と現代の静岡」
講師：静岡大学 名誉教授 小和田 哲男 氏

5 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会 功労者表彰

茨城県の会長を退任された小室雄一郎様（令和5年度茨城県会長・茨城キリスト教学園中学校肩羊会会長）の在任中の功績を称え、日私学保連門傳会長から感謝状が贈られました。

6 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会青少年育成研修会（東京都）

11月15日	会 場：アルカディア市ヶ谷	本県出席者：5名
--------	---------------	----------

- 第1部 「私立学校の目指すもの」
講師 一般財団法人東京私立中学高等学校協会 会長 近藤 彰郎 氏
- 第2部 「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」
講師 株式会社ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充 氏

県私保連研修会

県内の私立中学校・高等学校の保護者及び教職員が参加して、県私保連研修会を開催しました。

11月12日

会場：ホテルレイクビュー水戸

参加者数：54名

■善行生徒表彰

緊急時貢献活動や社会福祉活動など、個人表彰（10名）、グループ表彰（5団体）を行いました。（※詳しくは、5ページをご覧ください。）

■講演会

演 題 「安全運転がつなぐ親子の絆」

講 師 株式会社モトヤエデュケイツ

土浦自動車学校学科教習担当リーダー

霞ヶ浦高等学校 PTA 前会長 後藤 祐一氏



私学助成に関する請願・陳情

県私保連は、茨城県私学協会役員とともに私学助成の充実強化等に関する請願・陳情を行いました。

11月 6日（水）

私学振興全国大会（東京・文京シビックホール）への参加・国会議員への陳情

11月 29日（金）

県議会議長・自民党県連会長への請願・陳情

12月 12日（木）

県知事（飯塚副知事代理）への陳情

【要望事項】

- 1 経常費補助金の確保について
- 2 高等学校等授業料減免事業の拡充について
- 3 教職員研修に対する支援について
- 4 家計急変保護者世帯等に対する支援について

【請願陳情結果】

茨城県議会議長に提出した「令和7年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願」が令和6年第4回茨城県議会定例会で採択されました。



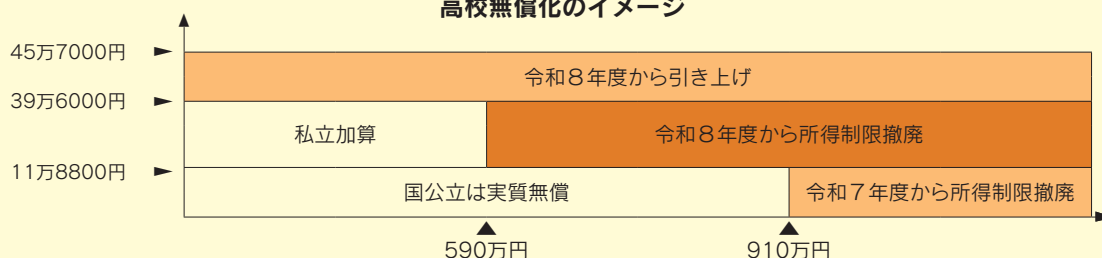
【速報】国の高等学校等就学支援金制度の収入要件が撤廃されます！

令和7年度から、高等学校等就学支援金制度で所得制限を受けている年収約910万円以上世帯の高校生等を対象に、国公立共通の基準額である、上限118,800円／年を授業料相当の教育費として支給する場合に、国が県に対して所要額を補助することになりました。

さらに、令和8年度からは、私立の加算分について所得制限をなくしたうえで、支給上限額を現行の39万6000円から45万7000円に引き上げられる予定です。

県私保連では、引き続き、この制度が完全実施されるように、国及び県等関係機関に要望して参ります。

高校無償化のイメージ



功 労 者 表 彰

毎年度、会員保護者会及び県私保連の役員を退任された方の在任中の功績を称える表彰を行っています。令和6年度は各会員保護者会会長からの推薦による功労表彰13名並びに県私保連役員等への特別功労表彰6名の計19名に感謝状を授与しました。

● 功 労（会員保護者会）

茨城キリスト教学園中学校	橋 本 成
大成女子高等学校	齋 藤 雅 江
常磐大学高等学校	横須賀 靖
茨城高等学校・中学校	紺 谷 智 則
水戸啓明高等学校	関 根 利 昭
水城高等学校	友 部 裕
清真学園高等学校・中学校	野 崎 勇 雄
霞ヶ浦高等学校	橋 本 知 子
東洋大学附属牛久中学校・高等学校	福 泉 明 華
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	大 江 市 郎
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	根 本 宏 美
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	直 井 誠 典
つくば秀英高等学校	松 崎 真 宏

（敬称略）

● 特別功 労（県私保連役員等）

（会長）茨城キリスト教学園中学校	小 室 雄一郎
（理事）大成女子高等学校	齋 藤 雅 江
（理事）東洋大学附属牛久中学校・高等学校	中 島 忠
（監事）つくば国際大学高等学校	石 嶋 淳 史
（副会長・監事）つくば国際大学高等学校	横 島 義 昭
（幹事）茨城キリスト教学園中学校	木名瀬 利 子

（敬称略）

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会
令和6年度総会



茨城県私立中学高等学校保護者会連合会
令和6年度総会



善行生徒表彰



県私保連加盟校の校長からの推薦により、他の模範となる活動をした個人10名と5グループを称える善行生徒表彰を行い、県私保連須藤会長から表彰状を授与しました。

● 個人表彰

【緊急時貢献活動】

常磐大学高等学校 八本 航琉

【緊急時貢献活動】

水戸葵陵高等学校 田崎 周弥

【緊急時貢献活動】

土浦日本大学高等学校 石水 もも

【緊急時貢献活動】

土浦日本大学高等学校 小沼空乃栞

【緊急時貢献活動】

江戸川学園取手高等学校 濱川 洋行

【社会福祉活動】

常総学院中学校 玉田 りく

【緊急時貢献活動】

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
..... 大胡 依里

【緊急時貢献活動】

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
..... 飯田 彩心

【緊急時貢献活動】

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
..... 三田さくら

【緊急時貢献活動】

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
..... 秋葉 明華

● グループ表彰

【環境整備活動】

明秀学園日立高等学校
..... かみねゲンキ PROJECT

【地域文化の向上活動】

茨城キリスト教学園高等学校
..... インターアクトクラブ

【社会福祉活動】

水城高等学校 インターアクトクラブ

【環境整備活動】

霞ヶ浦高等学校 自然科学部

【環境整備活動】

土浦日本大学高等学校
..... 特別進学コース2学年



私学助成について

茨城県内の私立学校に通う生徒を持つ、私たち保護者の教育費負担軽減を目的としている主な私学助成のご紹介

私立高等学校等経常費補助金

私学助成の主なものが「経常費補助金」です。経常費補助金は、私立学校の経営の健全化、教育条件の維持向上及び就学上の保護者負担の軽減を目的として県から私立学校に補助されます。

令和7年度は、高校生1人当たり387,213円（中等教育学校後期課程同額）・中学生1人当たり355,522円（中等教育学校前期課程同額）の予算が措置されました。

なお、補助金額は、学校の規模（生徒数、教職員）や教育活動の取組状況等により算定され、配分されます。

（生徒1人当たりの補助金予算単価の推移）

学 校 種		令和5年度	令和6年度	令和7年度
高 等 学 校		377,532円	381,653円	387,213円
中 等 教 育 学 校	後 期			
	前 期	350,057円	346,101円	355,522円
中 学 校				
通 信 制 高 等 学 校（狭 域 通 信 制）		80,988円	81,905円	83,165円

注）通信制高等学校への補助金額は、狭域通信制の高等学校への県補助金額です。広域通信制の場合は、国からの直接補助になります。

私立高等学校等就学支援金

家庭の経済状況に関わらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、教育費負担の軽減を図ることを目的に、授業料の一定額が「高等学校等就学支援金」として国から支給されます。

なお、就学支援金が支給されない高校生等に対しては、「高校生等臨時支援金」が支給される見込みです。

○高等学校（全日制課程）の生徒の場合

- ・高等学校等就学支援金は、年収約910万円未満の世帯に、月額9,900円（年額118,800円・県立の授業料相当分）を上限に支給されます。
- ・年収約590万円未満の世帯については、月額33,000円（年額396,000円）を上限に支援金が支給されます。

保護者の年収の目安	支給上限額（年額）
590万円未満	396,000円
590～910万円未満	118,800円
910万円以上	支給なし

※年収は、保護者のどちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人の4人世帯の場合の目安です。

また、保護者等の負傷・疾病による療養や災害による被災により勤務できない場合や、その他自己の責めに帰することのできない理由による離職などにより、従前得ていた収入を得ることができない世帯（※）について、支援金が支給されます。（支給上限額：月額33,000円）

※年収が、約590万円未満まで減少する見込みの世帯

私立高等学校等授業料等減免事業

経済的理由により授業料等の納入が困難な児童、生徒を対象に授業料等の軽減措置を行う学校法人に対して、県から補助金が交付されます。

注）私立学校によっては、独自の奨学金制度を実施していることなどから、本事業を実施していない場合があります。

○入学金軽減事業（高等学校全日制課程向け）

保護者の年収の目安	補助区分	補助上限額
350 万円未満	入学金	96,000 円
350 万円～ 590 万円未満	入学金	48,000 円

○授業料軽減事業（中学校・中等教育学校前期課程向け）

保護者の年収の条件	補助区分	補助上限額
400 万 円 未 満	授業料	(*) 336,000 円
家計急変世帯向け	授業料	336,000 円

※県補助分 302,400 円（9/10）と学校負担分 33,600 円（1/10）の合計



私立高等学校等奨学給付金

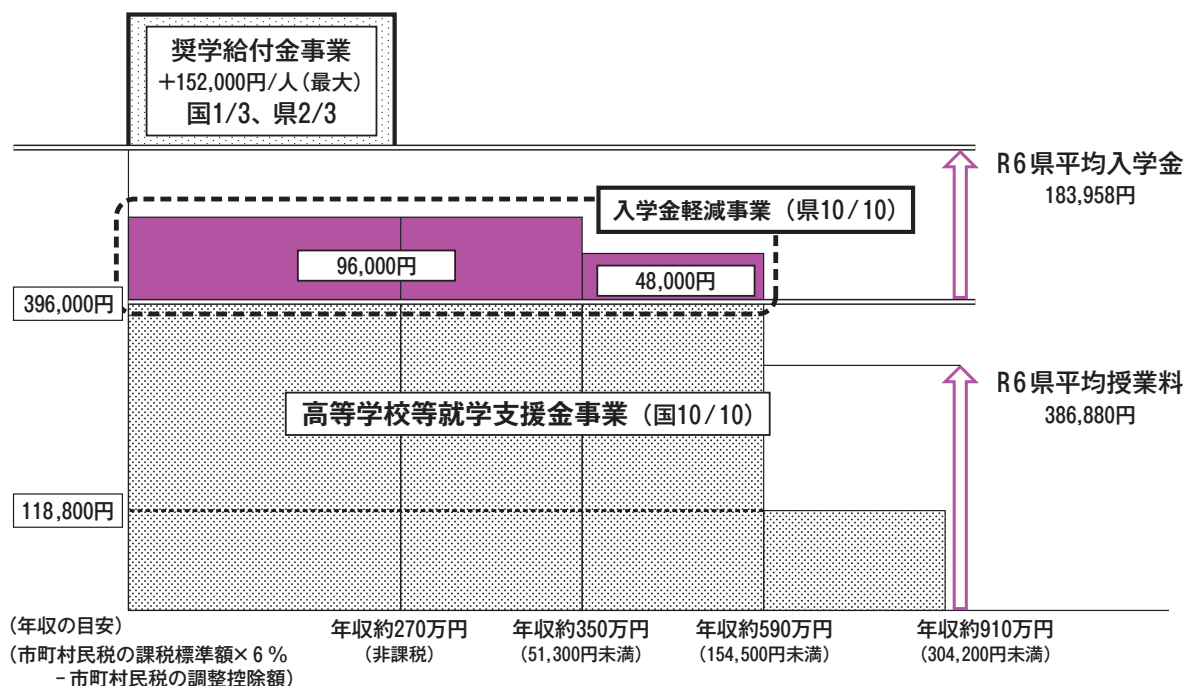
すべての生徒が安心して教育を受けられるよう、低所得世帯（市町村民税所得割額が非課税の世帯）の生徒に対して、奨学のための給付金（授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費）が県から支給されます。

注）保護者等が茨城県内に在住していることが支給の要件となります。

世帯区分	給付額（年額）
生活保護受給世帯（全日制・通信制）	52,600 円
非課税世帯・全日制（第1子）	152,000 円
非課税世帯・全日制（第2子以降）	152,000 円
非課税世帯（通信制・専攻科）	52,100 円

参 考

私立高等学校等就学支援金・授業料減免事業のイメージ図 （高等学校全日制の場合）



- (注) 1 奨学給付金は、授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費を支援する事業
2 就学支援金は、授業料の負担を軽減する事業
3 年収は、保護者のどちらか一方が働き、高校生1人、中学生1人の4人世帯の場合の目安

会員校紹介

水城高等学校

水城高等学校は、1964年2月に創立し、このたび60周年を迎えました。

創立以来、「洗心以て自己の確立を期す」という建学の精神を柱に30,000人を超える卒業生を輩出してきました。常に様々な教育改革を進め、ICT教育環境の充実、授業動画配信、放課後自習室の設置など、新たな取り組みを実行してきました。令和7年度入学生からは、さらに新たなプログラムを導入します。入学時のS・U・Zという3つのグループを、2年次より希望と適性に応じて再編し、A・B・Cいずれかのコースに在籍するというものです。生徒一人ひとりにとって最適な進路実現がより効果的になれるはずです。

水城高等学校PTAは様々な活動を通して、これらの学校の取り組みに協力することで、生徒たちの成

長を支えています。例えば、水城祭、マラソン大会等の学校行事に積極的にに関わり、企画・出展、沿道で声援を送るなどして、イベントを盛り上げています。PTA全体として自己研鑽を積むことも大切です。研修会や講演会等を定期的実施しています。

これからも子どもたちのために一生懸命活動していくつもりです。



茗溪学園中学校高等学校

本校は、筑波研究学園都市における研究者の子どもたちの教育を目的として、筑波大学の前身である東京教育大学の同窓会「茗溪会」によって設立されました。1979年の開校以来、国際理解教育を重視しており、帰国生や留学生が多く在籍する本校は、日常生活そのものが国際的な環境となっています。

本校の建学の理念は、「世界的な視野を持つ人材の育成」にあります。この理念を具体化するため、私たちは「社会のウェルビーイングの実現」、すなわち、自分自身のみならず他者も含めた社会全体の幸福を追求し、多様化する社会で力強く柔軟に生き抜く人材の育成を目指しております。海外大学を含めた「世界を股にかけた進路実現」を果たすことができるのが、茗溪学園の特徴の一つです。

私たちは次の50年を見据え、国内外でさらに高く

評価される学校を目指してまいります。独自性の高い教育カリキュラムの更なる発展、SSH第3期目としての探究活動の充実、国内外の大学や海外の高校との提携強化、さらに多彩な発展的教育プログラムの開発に注力していきます。これからも、日本有数の「ユニークで、かつ世界に開かれた学校」として認知されるよう努めてまいります。



会員 令和7年4月現在 25保護者会

明秀学園日立高等学校・茨城キリスト教学園高等学校・茨城キリスト教学園中学校・大成女子高等学校・常磐大学高等学校・茨城高等学校中学校・水戸女子高等学校・水戸啓明高等学校・水城高等学校・水戸葵陵高等学校・水戸英宏中学校・清真学園高等学校中学校・鹿島学園高等学校・岩瀬日本大学高等学校・つくば国際大学高等学校・霞ヶ浦高等学校・土浦日本大学高等学校・土浦日本大学中等教育学校・東洋大学附属牛久中学校高等学校・愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校・江戸川学園取手・高等学校・常総学院中学校高等学校・聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校・茗溪学園中学校高等学校・つくば秀英高等学校

編集後記

「私学いばらき」vol.15をお届けします。令和7年度政府予算が成立し、高等学校就学支援金の所得制限の撤廃など、県私保連が長年要望してきた私立学校授業料の無償化へと大きく踏み出すことができました。これも一重に保護者の皆様のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。今後も引き続き、私学助成の充実に向けて、国・県に働きかけて参ります。最後に、発行にあたりご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

令和7年度の活動予定

6月13日(金)	県私保連総会(水戸)
6月27日(金)	関東地区私学保連理事会(栃木)
8月8日(金)	日私学保連総会及び20周年記念式典(東京)
8月29日(金)	関東地区私学保連代表者及び研修会(栃木)
11月5日(水)	私学振興全国大会(東京)
11月13日(木)	県私保連研修会(水戸)
11月21日(金)	日私学保連青少年育成研修会(京都府)